

# おぢや

# 市議会だより



NO. 86

29.10.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



## 小千谷市剣道スポーツ少年団

剣道の普及と青少年の健全育成の目的のもと、昭和47年に結成され、本年で45年になります。

子どもたちは剣道の技だけではなく、「礼に始まり礼に終る」と言われるように、礼儀等についてもしっかり学んでいます。

小学生6人、中学生1人の7名が次の大会に向け練習に汗を流しています。

コテ！ メーン！ ドウ！

- 第3回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P3
- 一般質問 …… P4~7
- 議会日誌 …… P8
- 雪あかり、編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

## 第3回定例会 議決結果 (9月4日から9月26日まで開催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
予 算	議案第64号	平成29年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決
	議案第65号	平成29年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)	〃	〃
	議案第66号	平成29年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
	議案第67号	平成29年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第68号	平成29年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第69号	平成29年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第70号	平成29年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
決 算	議案第71号	平成28年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認 定
	議案第72号	平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第73号	平成28年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第74号	平成28年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第75号	平成28年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第76号	平成28年度小千谷市ガス事業会計決算認定	〃	〃
	議案第77号	平成28年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認 定
	議案第78号	平成28年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
	議案第79号	平成28年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
その他	議案第63号	専決処分(平成29年度小千谷市一般会計補正予算(第2号))	全会一致	承 認
	議案第80号	小千谷市の公の施設(地域間交流センター)の指定管理者の指定	〃	原案可決
	議案第81号	小千谷市の公の施設(市民学習センター)の指定管理者の指定	〃	〃
	議案第82号	小千谷市道路線の認定	〃	〃
	議案第83号	小千谷市教育委員会委員の任命〔井上みゆき氏〕	全会一致	同 意
	議案第84号	財産の取得	全会一致	原案可決
発 議	発議案第4号	学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書	〃	〃
請 願	請願第4号	「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	みなし	採 択
	請願第5号	所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することを求める請願	賛成少数	不採択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択または不採択されたものとみなします。

## 議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安 康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中 淳	本田 剛	久保田久栄	風間順一
議案第71号	認 定	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第72号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第73号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第74号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
請願第5号	不採択	4	11	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×

※ ○は賛成、×は反対、議長(田中淳)は採決に加わりません。

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案11件について、9件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案11件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきもの、1件を採択しないものと決しました。

○議案第65号 平成29年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)について  
本案は、普通交付税の交付決定やふるさと納税寄附金の増額など、歳入歳出それぞれ1億9262万8千円を追加し、歳入歳出の合計をそれぞれ180億9677万円とするものです。

○議案第68号 平成29年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について  
○議案第69号 平成29年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について  
以上の2議案は、新潟県が実施する河川改修事業等におけるガスパ及び水道管移設工事等の実施設計委託料を増額するものです。

○議案第70号 平成29年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について  
本案は、公共下水道事業における污水管渠整備工事費及び企業債の増額、農業集落排水事業にお

る県道改良工事に伴う補償金工事費及び移転補償金の増額並びにガス事業会計及び水道事業会計の補正と同趣旨のものです。

○議案第71号 平成28年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は188億5369万8187円、歳出決算額は183億9192万9534円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、4億4794万3683円の黒字となりました。

○議案第76号 平成28年度小千谷市ガス事業会計決算認定について  
収益的収支においては、収入の決算額は14億4146万6940円、支出の決算額は14億8296万4933円。当年度純損失は5827万5092円となり、前年度繰越欠損金と合わせた当年度未処理欠損金は8310万5179円となりました。

○議案第77号 平成28年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について  
収益的収支においては、収入の決算額は9億7232万3067円、支出の決算額は6億8354万172円。当年度純利益は1億6663万6233円となり、前年度繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は、5億266万3205円となりました。

○議案第78号 平成28年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について  
収益的収支においては、収入の決算額は2億5416万6870円、支出の決算額は2億637万9966円。当年度純利益は446万5086円、前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は2億1204万6791円となりました。

○議案第79号 平成28年度小千谷市下水道会計事業の利益の処分及び決算認定について  
収益的支出においては、収入の決算額は18億6453万2733円、支出の決算額は13億6211万1353円。当年度純利益は4億9015万7548円で、前年度繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は9億6194万6289円となりました。

○議案第80号 小千谷市の公の施設(地域間交流センター)の指定管理者の指定について  
○議案第81号 小千谷市の公の施設(市民学習センター)の指定管理者の指定について  
以上の2議案は、いずれも指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了となることに伴い、指定管理者の指定について、市議会の議決を求めます。

○請願第4号 「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の拡充を求める意見書」の採択に関する請願について  
本請願は、私学助成の増額・拡充を求める意見書を関係機関に送付してほしいとするもので、採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決しました。

○請願第5号 所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することを求める請願について  
本請願は、所得税法第56条廃止の意見書を国へ提出することを求めたもので、採決の結果、起立少数で採択しないものと決しました。

## 民生産業委員会

本委員会に付託されました議案8件について、慎重に審査した結果、原案の通り可決すべきものと決しました。

○議案第66号 平成29年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について  
本案は、平成28年度の医療費に係る保険給付費等の額の確定に伴い、歳入歳出それぞれ1673万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ40億9962万6千円とするものです。

○議案第67号 平成29年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について  
本案は、平成28年度の介護給付費等の確定に伴い、歳入歳出それぞれ1億2371万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ40億7858万6千円とするものです。

○議案第72号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は41億4722万3602円、歳出決算額は40億7229万838円で、歳入歳出差引額7493万2764円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第73号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は37億9333万8552円、歳出決算額は36億4017万1819円で、差引額1億5316万6733円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第74号 平成28年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は7億3749万8100円、歳出決算額は7億1853万5691円で、差引額1896万2409円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第75号 平成28年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は34万7266円、歳出決算額は9万9416円で差引額24万7850円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第82号 小千谷市道路線の認定について  
本案は片貝地内2路線、栄町地内1路線を市道に認定するものです。

○議案第84号 財産の取得について  
本案は工業団地造成事業用地を鴻巣町及び片貝町地内に取得するものです。

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### 車イスで歩けるまちづくりを目指して

佐藤 隆一 議員

**質問** 日常生活を送るうえで最大のリスクは交通事故です。昨年の死亡者は3人と（前年度比1人増）増加しています。現状をどう分析していますか。

**答弁** 発生件数は36%、負傷者数は41%減少しているものの、死者数が増加しました。高齢者の事故防止に努めていきたいと考えています。

**質問** 公共交通の中心でもある、新病院循環バスの利用状況と課題についてお聞きます。

**答弁** 350人（月平均）で、本町中央バス停について利用者が

が多く、バス利用の促進に努めていきたいと思えます。

**質問** 交通安全を防止するための最優先の課題は何でしょうか。

**答弁** 事故に遭う確率が県平均よりも高いため、冬期間を通じて歩行者空間の確保、歩道整備を進めていきたいと思えます。

**質問** 小千谷病院跡地計画作りをモデルとした「車イスで歩けるまちづくり」を目指すべきではないでしょうか。

**答弁** 「賑わい・交流・憩いの創出」を基本とした、高齢者や障がいのある人など誰もが安心して利用できる施設づくりに向けた検討が必要と考えています。

車イス利用者に配慮した公共施設のバリアフリー化やインフラ整備など、福祉の視点でのまちづくりについては、小千谷市障がい者計画や都市計画マスタープランなど、個々の施策の中で検討し実施しますが、車イス利用に特化した道路計画の検討は考えていません。

**質問** 新潟県国保方針について。

**答弁** 12月中に方向性を示す予定。県の標準保険料率提示が1月上旬。税率改正が必要であれば臨時議会をお願いすることになる。



通学児童の安全見守り  
「おかえりなさい！」

### 道徳の教科化について

佐藤 栄作 議員

**質問** 小千谷市内の学校に「道徳教育推進教師」は何人いるのか。

**教育長答弁** 市内全ての学校に各1名配置されています。

**質問** 道徳の実施計画について。

**教育長答弁** 学級における指導計画を各学校において作成し、それに基づいて指導しています。新たに採択された教科書の内容に基づき、現在の指導計画を見直し、対応していくこととなります。

**質問** 道徳教科に関して教師の研修参加状況について。

**教育長答弁** 市内の教職員で構成する小千谷市教育研究会において、今年度から、「道徳部」を



新たに設け、道徳の指導についての研修会を企画し、実施しております。また、各教育関係機関が主催する道徳教育に関する研修会等に、市内全ての学校の教員が参加し、先進校の道徳教育について教員が視察を行い、冊子にまとめて、各学校に配付しております。教育委員会としても、各学校に研修会に積極的に参加するよう指導し、教員の指導力向上に努めてまいります。

**質問** 道徳の評価の基本について。

**教育長答弁** 学習指導要綱では、道徳の評価は、指導のねらい・内容に照らした記述式で評価を行い自らの成長を実感し、意欲の向上につなげていくことが基本であります。教員が児童生徒の考え方や発言、行動等多面的に資料を収集し、個人個人を評価し、他の児童生徒と比較して優劣を決めるものではありません。

### 人口減少対策・市民協働推進・教育支援

長谷川有理 議員

**質問** 当市の30〜40代女性の労働力率は83.83%で全国813市区中34位。働く女性支援、共稼ぎ世帯支援を市政に反映すべき。病児・病後児保育の設置は県内最後になるが見通しは。

**答弁** まだ説明できない。年内目途に方向性をとりまとうたい。

**質問** 市女性職員の管理職登用、各種審議会等の女性割合は。

**答弁** 女性管理職の割合は14.9%でほぼ目標値。女性委員の割合は目標値35%に対し実態が21.3%。構成員に関する規定の見直しを検討するなど向上に努める。

**質問** 市民協働のまちづくりの観点から当市の課題は。

**答弁** 若い世代の参加と人材育成。市民活動の情報や参加機会の提供等の環境づくりが課題。

**質問** 病院跡地活用で市民協働の醸成が形成されているか。

**答弁** ワークショップに参加した市民が自発的に結成した暫定活用コーディネート委員会が小千谷つながる未来プロジェクトに発展し進められている。

**質問** 委員会やプロジェクトの実態や経過も市民へ公開共有を。

**答弁** おぢやまつりのしゃっこいまつりで旧病院ホールで広報した。

**質問** 教員の多忙化を解消するため、定員増や環境改善を通して、未来を担う子ども達への支援を。

**教育長答弁** 残業を把握し、業務支援や働き方改革、教員の加配を今後も進める。

**質問** ネットによる差別や人権侵害の深刻化への対策を。

**教育長答弁** 県ネットパトロールやモニタリング事業と連携していく。

**質問** 小千谷学生寮女子入寮を。 **教育長答弁** 奨学会理事会で協議し現段階では困難と決定。



つつましく寛にあれ  
小千谷小学校開校150年学校の創生劇

### 図書館、障がい者介護、 利用しやすい病院に

内山 博志 議員

**質問** 旧病院跡地に予定の図書館は、社会的に重要な施設。利潤追求の民間企業委託はなじまない。小千谷をよく知っている市民が地域活性化のために貢献できる小千谷市直営を基本にしたい。いくことが将来のためにも大切ではないか。

**答弁** 「図書館及び（仮称）郷土資料館基本計画作成業務」において検討する。運営方式はメリット、デメリットを検証したうえで適切に判断する。

**質問** このプロジェクトを機会に市民参加のあり方を考え、強めるべきではないか。

**答弁** 従来から意向調査、ワークショップ、懇談会、審議会などで進めている。今後も可能な限り市民参加の手法を進める。

**質問** 住民税非課税世帯で障がい者福祉サービスを受けている方が65歳になると介護保険優先になり1割負担を強いられ、ゼロだった負担が月1万円にもなる方がいる。独自に負担軽減をしている自治体がある。生活に影響が出る。来年の新法前にも

負担軽減をすべきではないか。  
**答弁** 国が行うべきと考える。平成30年4月施行の障がい者総合支援法を注視する。

**質問** 介護保険・新総合事業の課題と対応について。

**答弁** 生活支援サービスの体制整備が進んでいない。体制整備を進めるため地域支え合いづくり座談会を進めている。

**質問** 市民の声が生き、利用しやすい小千谷病院となるよう適切な支援と意見交換が必要。  
**答弁** これまで保険事業ごとに協議し、市民の要望も伝えていく。協議を継続させ内容を充実させる。

### 教育・文化の質の向上と複合型図書館開設について

大矢 弘光 議員

**質問** 図書館移設を機にした教育レベル向上につながる施策について。

**教育長答弁** 複合施設には室内遊具を設置する計画があり、子どもたちの読書習慣の定着や保護者に対する家庭教育のレベルアップが期待される。また学習スペース等

を活用した小中高校生の利用促進、学校との連携を強化した教育力の向上につながるような事業の検討を進める。

**質問** 西脇順三郎記念室の方向性・検討課題/懇話会との情報交換/専門的説明員の必要性について。

**教育長答弁** 検討課題は利用者が研究者や愛好家など限られていること。西脇順三郎先生の功績を広く市民の方々から学んでいただけるよう検討する。西脇順三郎を偲ぶ会からは図書館の移設に関し要望書をいただいております。今後、必要に応じて情報交換の機会を持つ。西脇順三郎記念室のガイダンス等の説明は学芸員の配置を含め検討していく。

**質問** 現時点での施設概要、内容についてどのような検討が進められているか。

**答弁** コンサルタントを活用しながら今年度末を期限として「図書館及び（仮称）郷土資料館基本計画作成業務」を進めている。

**質問** 事業規模・ライフサイクルコスト・財源の見通し・市の財政負担の見通しについて。

**答弁** 民間活力導入可能性調査業務において、サービス水準、

施設的设计から建設、維持管理、運営を含めたトータルコストの抑制などを精査し、最適な事業手法を見出して検討する。



### 小千谷市国民保護計画について

久保田陽一 議員

**質問** 小千谷市民の生命・身体及び財産を保護する立場から、北朝鮮による度重なる軍事的挑発をどう捉えるか。小千谷市民保護計画の位置づけとは。

**答弁** 世界の平和と安定を脅かすものであり、核兵器の廃絶と人類永久の平和を強く願う市民の気持ちを踏みにじるものであり、強い憤りを感じている。小千谷市国民保護計画は弾道ミサイルをはじめ武力攻撃に対する対処法について記載してある。

**質問** 緊急情報メールの誤配信が二度と起きないよう、チェック

ク体制を整えるべき。緊急情報メール登録への更なる啓発は。

**答弁** 誤配信が二度とおきないように、システムに関する研修及び設定作業等におけるダブルチェック等の体制強化に努める。登録者数を増やすため、健康福祉まつりにて特設ブースを設置し、直接登録支援を行うなど機会を捉えて広報・啓発を行う。

**質問** ミサイル落下を想定した住民避難訓練を行うべき。

**答弁** 国・県と連携した訓練を検討する。

**質問** ホームページに小千谷市国民保護計画を掲載し、周知と理解を図るべき。

**答弁** 要点についてホームページで閲覧できるように掲載する。

**質問** 設置予定の防災公園に弾道ミサイル等への対処としてシェルターを設置すべきでは。

**答弁** 弾道ミサイル対応としては身を守る施設としてシェルターは有効と考えるが、市民全員を退避させるほどの規模、市内各所に相当数を確保することは困難であることから、国が示している弾道ミサイル落下時の行動に関する啓発に努めていく。



### ICT・ユニバーサルデザイン・災害

住安 康一 議員

**質問** 学校教育におけるICT活用の取り組みについて、当市での達成度や課題を伺う。

**教育長答弁** 多額の費用が必要であるため、目標水準に達していない。当市の教育環境に適した、効率的な機器の整備等を検討したい。

**質問** 2020年までのプログラムニング教育の必修化に向け、前もっての外部講師の活用準備や教職員への研修などの予定を伺う。

**教育長答弁** 学校現場のニーズを把握し、支援内容について検討する。

**質問** 誰もが安心、安全、快適な暮らしができるユニバーサルデザインによるまちづくりのために、条例の策定、方針や計画をつくるなど、当市の姿勢を明確に示すことが必要と考えるが。

**答弁** 事業を進めるための指針を検討したい。

**質問** 今後建設される図書館を核とした複合施設の設計にあたり、ユニバーサルデザインについて十分に検討すべき。

**答弁** 検討は必要。具体的な検討は今後の作業となる。

**質問** カラーユニバーサルデザインに対応した教材等を購入する仕組みを作るべき。

**教育長答弁** 対応した教材等の情報収集を行うとともに、それが、現状の学習内容に適切なものであるかどうか、学校のニーズ等も伺いながら、研究したい。

**質問** 有効な災害に対して、タイムライン（防災行動計画）の策定を進めるべき。

**答弁** 茶郷川等の中小河川や土砂災害のタイムラインは現状では策定は難しい。今後の課題とし、関係機関と協議したい。



大豪雨水害 7月18日茶郷川

### 前立腺がん検査・人間ドック助成等

森本恵理子 議員

前立腺がん検査について

**質問** 前立腺がんは罹患率が高い。全国の8割の自治体が導入しているPSA検査をがん検診もしくは特定健診のオプションとして取り扱ってはどうか。

**答弁** 前立腺がん検診は死亡率減少効果が明らかではなく、検診の有効性が立証されていないため実施は考えていない。

**質問** 泌尿器科学会は死亡率減少効果を証明しているが。

**答弁** 国の検診の指針に従う。

人間ドックの助成について

**質問** 人間ドックは半額助成でも約2万円の費用がかかり、国保加入の6割を占める60歳以上、また自覚症状のない若い世代には負担の大きい金額となっている。何年かに一度は助成率を上げてはどうか。

**答弁** 助成の回数は県内トップ。助成率を変える予定はない。

脳ドックに関して

**質問** 脳血管疾患は当市の死因第3位であり県平均より高い年齢調整死亡率である。高額な医療費の一因であり、要介護状態

の原因になる重要な疾患であるため、要因となる高血圧などの予防はもとより、脳の病気を発見できる脳ドックを導入しては。

**答弁** 発症予防に重点をおいている。脳ドックは生活習慣病の発見には向かないことから導入は難しい。

**質問** おたふくかぜワクチンに関して  
**質問** おたふくかぜは生涯残る重大な聴覚障害を起こす可能性が高い。ワクチンを打てば発症を9割防げるが任意接種だと費用も高く接種しにくい状況にあるため早急に公費負担を。

**答弁** 国の動向を見守りたい。

### 今後の市職員の採用と適正配置について

駒井 和彦 議員

**質問** 今まさに何が起るか分からない時代と言える。職員は通常業務のほか、災害などの発生時においては庁舎にいち早く参集し、それぞれに定められた業務を担うものと考えている。災害対応の観点からも今後の職員の採用は、今まで通り優秀な人材であることは勿論だが、当市に在住できる人材の確保に努めるべきと考えるが、市長の見解を

何う。

**答弁** 災害対応ではいち早くという点で、市内在住の職員であることが望ましい。職員の採用については、公正な試験によるものであり、ご指摘の通り、優秀な人材を確保することが第一だが、緊急時の対応も不可欠である。なお、住居については個人の事情もあり強制することはできないが、市外の職員に対し市内の在住を勧めていく。

**質問** 今後、県内、国内で多発すると推測される災害時に、災害対応、災害派遣が長期に渡れば、日常業務も含め、現在の人員体制では対応できない。災害の専門的知識を有する技術職員の採用も含め、今後の職員採用、適正な配置について何う。

**答弁** 今後も災害が多発すれば、当市の災害対応だけでなく、他自治体からの災害派遣を要請されることも推測される。以前から専門的知識を有する技術職員は必要であり、募集も行ってきたところである。また、震災を経験した職員も年々減っている。災害等不測の事態においては現有職員で最大限の対応をしていくが、技術職員の採用も含め、定員適正化計画と共に退職者見

込み数を考慮し職員採用を行っていく。

### 銀行の経営統合、農業問題、市民協働センター

阿部 正行 議員

**質問** 第四、北越両銀行の経営統合について。

**答弁** 公正取引委員会に判断が委ねられており、その動向を具体的に及び詳細に見守っていきたい。

### 農業問題について

**質問** 農業再生協議会の取り組みについて。

**答弁** 平成30年産米から国による数量配分がなくなり、需要に応じた取り組みとなるが、県の方針等勘案してルールに従って各農家に通知する。

**質問** 生産者、農業団体との合意形成について。

**答弁** 30年産米から米の直接交付金が廃止されるが、それ以外の交付金は継続されるので転作や需要に応じた対策を実施する。

**質問** 農業所得減少対策は。

**答弁** この度の米政策転換は農業のあり方を大きく変えようとしており、農業団体、与党から

反発もあるが、避けて通れない試験と捉え、知恵を出し、乗り越えていくことが大切。

**質問** 生産調整とナラシ対策について。

**答弁** これは制度上の問題でもあり30年度の国の予算と並行して中味が固まってくるのでその動向を注視したい。

### 市民協働センターについて

**質問** 進捗状況は。

**答弁** 第五次総合計画及び総合戦略でその推進のため検討しており平成31年度をめどに立ち上げたい。

**質問** 今後の運営について。

**答弁** 市民同士また行政が連携して活動を行う中で、相談に乗りたい、思いが実現するよう支えていく視点を持って運営方法等を検討していく。

### 都市計画税について

山賀 一雄 議員

**質問** 都市計画事業等と受益地として用いる用途地域との関係から、都市計画税の負担は、公平であると認識しているか。

**答弁** 税負担は、公平が原則であり、この考えは何ら変わるものではない。

**質問** 都市計画税創設の経緯をどのように認識しているか。

**答弁** 固定資産税の標準税率超過の見直しを契機に、当時想定された公共下水道事業など都市計画事業の財源として創設されたものと認識している。

**質問** 都市計画税余剰分を一般財源として他の事業に充てることは可能か。

**答弁** 他の事業への充当はできないもので、経理処理は適切であったが、説明資料等の明示に欠ける点があった。

**質問** 都市計画税賦課区域を都市計画区域全域として見直す考えはないか。

**答弁** 農振農用地区域や市街地から離れた山林など都市計画事業による受益が認められない場合、除外することが適当とされていることから、見直しは慎重な検討が必要である。

**質問** 都市計画税使途の明確化と公開について、どのように考えているか。

**答弁** 都市計画税の充当明示については、手法を含め対応できるように努める。

**質問** 都市計画税に変わる法定外普通税の創設を検討する考えがあるか。

**答弁** 法定外普通税の導入は、現在のところ考えていないが、税については一番基礎となるものであるため、極めて慎重に検討すべきと考える。

### 小千谷市手話言語条例(案)へのご意見を募集しています(パブリックコメント)

市議会では、手話言語条例策定委員会を立ち上げ、条例の制定に向け検討を行ってきました。この条例(案)につきまして、みなさんのご意見をお寄せください。

募集締切/11月6日(月)

条例案の閲覧場所/市役所市民ホール、片貝総合センター、真人ふれあい交流館、東山・岩沢・川井各住民センター、図書館、総合体育館、ホットプラザ、健康センター、わんパーク、楽集館、議会事務局

詳しくは、議会事務局 電話83-3505までお問い合わせください。  
広報おぢや10月10日号、市ホームページにも記事を掲載しています。

〈7月〉

- 3日 小千谷市議会改革検討委員会
- 6日 議会報編集委員会
- 10日 手話言語条例策定委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 19日 大分県国東市議会行政視察に来市
- 19日 水明会行政視察に出発(富山県黒部市・砺波市)
- 20日 大分県由布市議会行政視察に来市
- 21日 福井県敦賀市議会行政視察に来市
- 25日 手話言語条例策定委員会
- 25日 民生産業委員と商工会議所との市内企業視察研修会
- 27日 緑風クラブ・公明党行政視察に出発(長野県千曲市・愛知県半田市)
- 31日 手話言語条例策定委員会
- 〈8月〉
- 1日 茨城県つくば市行政視察に来市
- 3日 議員協議会
- 4日 小千谷市議会改革検討委員会
- 7日 民生産業委員協議会
- 7日 手話言語条例策定委員会
- 22日 中越地区市議会合同議員研修会(十日町市)
- 23日 手話言語条例策定委員会
- 24日 県市議会議長会秋季定期総会(田上町)
- 28日 議会運営委員会

〈9月〉

- 4日 第3回定例会(本会議)
- 5日 常任委員会連合審査会
- 6日 常任委員会連合審査会
- 7日 総務文教委員会
- 8日 民生産業委員会
- 15日 小千谷市議会改革検討委員会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 本会議(第2日)
- 22日 本会議(第3日)
- 22日 議会報編集委員会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 本会議(第4日)
- ” ” 手話言語条例策定委員会



山崎 直樹(木津町)

仕事とは別に面白いことがたくさんあって、商工会議所青年部に所属しています。設立から5年を経過、おちやまつりでのイベントを開催できるまでに仲間が増え、感謝と嬉しい気持ちでいっ



68

ばいです。

私があるので大切にしているのは、出てきた意見を批判せず、まず面白いと賛同し、実現までの道筋をみんなで考えてみるという姿勢です。それが仲間の成長や自分の再発見と行動力に繋がると思っています。

予算や日取り、集客など新しい事業の実現には困難な課題が山積みですが、ともすると諦めてしまいがちですが、それを乗り越え実現させ、仲間と喜びを分かち合い互いの成長を感じることが、今現在の私の無常の喜びとなつていきます。

また並行して小千谷法人会の仲間と、小学生向けの租税教育にも取り組んでいます。

マニュアルを基に教壇に立ち、税金について考えてもらうことは試行錯誤の連続で大変ですが、子どもたちに教える機会を得ることで、自分を顧みて襟を正し、成長できる貴重な場なので頑張つて継続しています。

子どもたちに6年後に与えられる選挙権を通して自分で考えて有効に使うしてほしいと必ず付け加え自分たちで素晴らしい未来を作っていくって欲しいという願いを込めています。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。(平成29年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

市議会を傍聴してみませんか

第4回定例会開催予定

- 12月1日(金)第1日 議案上程説明
- 12月4日(月)～6日(水) 各常任委員会で審査
- 12月19日(火)第2日 一般質問
- 12月20日(水) 予備日 一般質問

(質問者が多い場合に開催)

12月22日(金)最終日

委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

URL <http://www.city.ojima.niigata.jp/>

編集後記

第3回定例会が9月26日に終了しました。

私が議員になってから一般質問は、毎回10人以上の議員が行っており、常任委員会でも活発な議論を行っています。

そんななか、国会議員や地方議員の不祥事が報道されており、議員の質の向上が求められているのが現状です。

小千谷市議会では、先輩議員から議員としての行動・倫理観等について指導を受けておりますので、心配はないのではないかと感じています。

今後、公人としての議員であることを見直し議員活動を行うてゆき、希望の持てる小千谷市にしていきたいという覚悟でございます。

市民の皆様からも、ご指導頂けたらありがたいと思います。

小千谷市議会としては、今後も市政と地域の発展のために一人一人努力、研鑽に努めていきたいと考えています。どんな小さなことでも議員に気軽に、ご意見、ご相談頂けたら小千谷市の活性化と議会の質の向上に繋がっていくと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

編集委員 佐藤栄作